

ほっとライン 8月号

～ささえる～つなげる～ほっとする～

今月の言葉

人びとと共に喜びも
苦しみも分かち合おう

8月(葉月) 皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

夏真っ盛り。自然に目をむけると、青い空、白い入道雲、そよぐ風、蝉の声、夏の花々、夏ならではの風景や音を体感できます。暑さで外出を躊躇してしまうこともありますが、少し涼を感じられる時には、近くにお散歩でも気分転換になりますね。

8月は、「広島・長崎原爆の日」、「旧盆」、「終戦記念の日」とご先祖を想い、供養する月でもあります。戦争を知らない世代も、経験者からお話を聴く機会があればいいですね。平和の大切さやありがたさを実感出来ると思います。

今、私たちに出来る事は「戦争が起きている国が平和になりますように」「戦没者、ご遺族」の方々への祈りとご供養です。あらためて、お互いを思いやり、理解しあい、人々と苦楽を共に分かち合う事…。平和な世界になれるようにと願っております。

わたしから、あなたへ 想い伝えたい ～こころのバトンタッチ～

テーマ：人に尽くせる人生



今、私は90歳です。今から77年前のあの日横浜市神奈川区で、終戦をむかえました。

当時13歳、女学校の生徒でした。町が焼け野原になっていました。仏さまに守られ、母と弟も無事でした。それから、たくさんの苦難がありました。私が心から尊敬し信じる方の存在と、生かして頂いた心からの感謝が、やがて私を福祉の仕事へと導いて下さいました。どんな苦難の時も、人の為につくせる事、人の役にたてるような人生であり続けたいと願っています。

神奈川県在住 女性 サポート会員

テーマ：両親への感謝



両親が亡くなってから、8年が過ぎました。生前の両親とは人間関係で葛藤があり、正直口論になってしまうこともありましたが、七回忌の法要後位から、両親への想いが変化しました。

なぜかという法要の際に、両親を良く知る知人から「料理上手だったね」「困っている人がいたらよく面倒見ていたよ」とお褒めの言葉を頂いたからです。とてもうれしい気持ちになりました。今も私を見守っていると信じています。私も幸せになるからね。「ありがとう！お父さん、お母さん」

埼玉県在住 女性 協力会員

読者コーナー



パステル画
伊藤和子さん



押し花フラワーポーチ
蓮見幸代さん



絵手紙
片岡佳恵さん